

カセットボンベ缶、スプレー缶 の取り扱い について

 **事故多発しています！**

平成 30 年 12 月 17 日に札幌市の不動産会社で、建物内でスプレー缶の処理を行った際、爆発事故が発生しました。町では、これまでスプレー缶・カセットボンベ缶は穴あけをして各種ごみの日に出すようお願いしていましたが、4 月 1 日より穴あけを行わず、以下の点のとおりごみ出しを行っていただきますようお願いいたします。

カセットボンベ缶、スプレー缶のごみ出し方法

ステップ ①

缶を振って中身の有無を確認してください。

中身が入っている場合、**屋外の火の気のない場所**で中身を出し切ってください。

ステップ ②

音がしなくても、まだ、ガスなどの中身が残っている場合がありますので、スプレー缶の本体に記載されている中身の出し方の指示にしたがい、**ガスが抜ける切るまで出しきって下さい。**

ステップ ③

ゴミ分別は、スプレー缶、カセットボンベ缶、いずれも**空き缶ごみ**に統一となりました。

※その際、缶は穴をあけずに中身の見える袋にまとめて、空き缶ごみの指定袋に入れてください。※詳しくは、うら面をご覧ください。

最終確認！！

これまでは、スプレー缶→不燃ごみ
カセットボンベ缶→缶ごみ
※いずれも穴をあける。



4 月 1 日からの変更点
スプレー缶、カセットボンベ缶
→**空き缶ごみへ**
※いずれも穴をあけない。
ご協力よろしくお願ひします。

① 穴を開けていないスプレー缶やカセットボンベ缶



【ご注意願います！】

缶の中身が入った状態でごみ出しされた場合、ごみ収集やクリーンセンターでの処理作業の際、火災の原因になるおそれがありますので、必ず缶の中身は出しきるようお願いします。

② 缶と一緒にし、中身の見える袋に入れます。
※中身の見える袋は特に指定はありません。



③ ほかの空き缶が入った指定袋です。



④ 空き缶の入った袋③に小分けした②の袋を一緒に入れてください。



この状態にしていただき、
「空き缶ごみ」
の日にだしてください。